

VII.舟橋洋介 発起人挨拶:「W3C と WEB 面からのコメント」

スマートプラットフォームですと、WEB に関して役割を担っていくということで皆さんとやっていきたいと思っています。 本日は W3C とか WEB の面からコメントをしていきます。

1. ONE-WEB

W3C の大事なキーワードは ONE-WEB ひとつの WEB であります。

携帯電話等は個別信託みたいなものが一時は最適化され、広がりを持ったのだけれども、一時的な最適化が新しい時代、新しいチップ、新しい環境にとっては足かせになってきた。ひとつの WEB というものをキープすることがいろんなステークホルダーにメリットがあることが分かってきた。何年間か検討されてきて、2014 年に勧告化が予定されているのが HTML5 です。

携帯電話のフラグメンテーション、フラッシュのプラグインというフラグメンテーションを開始して、情報が世界中が途切れなくつながるように、HTML5 では誰でもアクセスできるシロイヤリティフリーで誰でも情報発信できる。

2. 構造体としてのWEB

私が W3C で参加していて大きく感じるのは、下のレイヤである VPN であったり、IPV6 であったり更に下の光ファイバとの接続だったり、データセンタの電力であったり、トータルでは莫大な人の労力の結果として皆が自由にアクセスできるプラットフォームのプラットフォームとしての世界最大の情報構造体としての WEB の重要性です。

ハイパーテキストリンクによってこの単一の WEB のこの構造体につながっていない情報というものがどういう風な価値を持ちうるかはいろいろと難しいものである。そういった中でいろいろな課題をもたらしていると思います。国境の概念とか著作権の権利の問題もあるとおもいます。

3. WEBの上のレイヤ

また WEB の一番上のサービスというレイヤではなくてその下のレイヤ例えばビットコインという新しい形の貨幣として壮大な実験を 5 年ほど前から試みが行われた。初めは単なるトライアルだった。廃れるのかと思ったら実貨幣の変わりになるとも思われた。カナダなどは準貨幣として認定して課税をしたりいろんな事が試されていた。コンピュータと情報網とネットワーク、WEB、プラットフォームというものはマネー 2.0 とビットコインを除いては、なかなか進まなかった。もう一段イマジネーションを働かせていく必要がある。伊藤穰一さんがビットコインの話をして FBI からお金のことで逃げるのは無理なんだよね、といていた。10月2日にシルクロードというアメリカの最大のオンラインのブラックマーケットがビットコインという分散型の技術を使ってやっていたのだけど特定されて逮捕された。というニュースがありました。サイバーファンドですが現実の世界になって来ました。

もう一步シフトアップして考える時期にきているので、発足するフォーラムで知見を合わせて議論して対応していきたいと考えています。

(以上)